



びっきー

第11号

【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく
生きる生徒の育成

全校朝会の話より

7月8日(水)放送による全校朝会を実施しました。話の内容を紹介します。

皆さんにとって一番大切な日はいつですか。大切な日は、人それぞれ異なると思いますが、やはり「自分の誕生日」つまり「自分が生まれてきた日」と思う人が多いのではないのでしょうか。

親は、子どもが生まれると、子どもの将来を願って名前を付けます。私も、子どもに名前を付けるとき、考え、悩み、なかなか決まらなかったことを思い出します。あなたの名前は、「親の願いを込めた我が子に宛てた最初の一番短い手紙」だと思ってください。だから、表彰などで名前を呼ばれて、突然でビックリするかもわかりませんが、返事をしない人を見ると残念に思います。親にとっては、我が子が表彰される瞬間だから、この上もない喜びだと思います。ぜひこれから、名前を呼ばれたら、いつでも「はい」と返事をしてください。学校だけでなく、家庭でも返事をしてほしいと思います。

誕生日ですが、自分の生まれてきた日、場所、環境は、誰一人として自分の意思で決めることができません。残念ながら、「オーストラリアに生まれたかった。」「江戸時代に生まれたかった。」「長男でなく次男がよかった。」というように、自分の生まれる環境なども、自分で決めることは誰にもできないのです。そういう意味では「みんな平等」といえるのではないのでしょうか。

しかしながら、人それぞれ、人は生まれた時点で、自分の生まれた環境を背負って生きていかなければなりません。例えば、「お金持ちの家に生まれ、何不自由なく生きたかった。」「病気や障害を持たず、健康な体で生まれたかった。」「お寺でなく、会社員の家庭に生まれたかった」など思う人もいるでしょう。人それぞれ、この世に生を受けた時点で、生まれたときの環境が既に決まっているという意味では、ある意味「不平等」といえるかもしれません。

それぞれが、人と違う生まれた環境を背負って、人は精一杯生きていかなければなりません。つまり、「同じ人間」として、この世に生を受けたその時点で「みんな違う」からこそ、お互がお互いの「心」を、お互いの「想い」を、お互いの「立場」、そしてお互いの「命」を尊重し合わなければならないと思います。

先日、アメリカで黒人が白人警官に膝で首を取り押さえられ死亡するという事件や、警官の拘束に抵抗した黒人男性が射殺されるという事件が起きてしまいました。「人類みな平等」です。「同じ人間」としてこの世に生まれてきたはずなのに、肌の色が違うだけで、なぜ差別されなければいけないのか。人を傷つけ、命を奪う。あってはならないことであり、絶対に間違っていると思います。

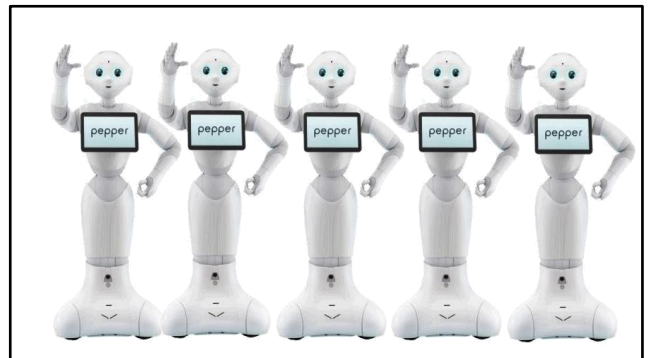
このことは、外国のことだけではないと思います。差別は、学校でも起きていませんか？勉強や運動などの能力、その人の性格や行動など、結果だけを無意識に比べていることはありませんか？先程言ったように、誰でも、「お金持ちの家に生まれたかった。」「健康な体で生まれたかった。」

「身長が高く、イケメンで、頭がよく、スポーツ万能・・・」挙げればきりがありませんが、よいことばかりを望みがちです。そんな自分の環境を悔やんだりするときは、自分を他人と比べたり、他人から自分を比べられたりしたときだと思えます。他人との比較にこだわることは、そのまま「差別」につながります。その人が頑張っている「過程」でなく「結果」だけを「比べる」という無意識の行動が、「差別」につながります。「比べる」ということの意味のなさ、恐ろしさを改めて考えてほしいと思えます。

人には、それぞれその人にしかない素晴らしさがあると思えます。だからこそ、まず1人1人が、その素晴らしさを大切に、そして「今を生きている」ことを大切に生きていくことが大事なことだと思います。そしてそれ以上に、1人1人が1人1人を1人の人間として尊重し、大切にしていこうとすることがとても大事なことでないでしょうか。

「1人1人みんな違って当たり前」なのです。

私たちは、ソフトバンク社の人型ロボットPepperではないし、私たちは1号、2号でもない、ちゃんと親の願いがこもった名前を持っています。中身は同じではないのです。つまり、それぞれの環境で、大切に育てられた1人の人間です。自分だけでなく、周りにいる他の人1人1人が同じように親から大切にされ、育ってきたのです。比べたり、差別したり、からかったり、いじったり、いじめたり。



された本人は、なぜ同じ人間なのにこんなに嫌な、辛い思いをしなければならないのか思い悩むだろうし、どの親も、自分の子どもがそうされたら知ると、悲しみ、憤りを感じるのとは当然です。

人は、それぞれが置かれている環境で、精一杯生きているし、生きていかなければなりません。自分は他の人から大切にされたいと思うと同時に、自分以外のそれぞれの人の置かれている環境を大切にしてもらいたいと思えます。

具体的には、「みんなと違って、一緒に行動するのが苦手」であったり、「勉強が苦手」だったり、「運動が苦手」だったり、「同じことをしても、人より時間がかかってしまったりすること」などあると思えます。そんなときは、「自分なりに精一杯やっているのに、他人からとやかく言われたくない。そっとしてほしい。」と思っているに違いないと思えます。

今日は、人として命を授かり、1人1人が人と違う生まれた環境を背負って生まれてきているので、「みんな1人1人違って当たり前」であり、お互いの「心」や「想い」、「立場」そして「命」をそれぞれが尊重してほしいという話をしました。

人と少し違うことで、他人をからかったり、悪口を言ったり、困ることを知って楽しんで遊んだりする。「遊ぶ」とは、「人が物で遊ぶこと」であって、人が人で遊んだら「いじめ」になります。人からされたくないこと、言われたくないこと、嫌がることをからかって楽しむ。まさに、人が人で遊んでいる状態です。

これまでの自分自身の行動やありようをじっくり考えてraitたいと思え、多くの人が大切な日と思う「誕生日」の話をしました。